

子宮がん精密検査と判定された方へ

子宮がんってどんな病気？

子宮がんには、子宮の入り口部にできる子宮頸がん、奥の部分にできる子宮体がん(子宮内膜がん)があります。子宮頸がんは、性交渉で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)と強い関係があります。また、妊娠・出産回数が多い人や、喫煙者はリスクが高くなる傾向があり、30歳から40歳代で多く診断されています。一方で子宮体がんは、不規則な月経、排卵異常、肥満、高血圧、糖尿病等があるとリスクが高くなる傾向があり、50歳から60歳代で多く診断されています。

早期発見が重要！！

子宮頸がんは、早期に発見すれば比較的治療しやすいがんです。しかし、進行すると治療が難しいことから、早期発見が極めて重要です。また、子宮体がんも初期に治療を開始した場合ほど治療成績が良いので、早期に発見することが大切です。

～2次検診ってどんな検査をするの？～

子宮がん検診(内診)で精密検査と判定された方は、次のような検診を実施します。



●経膈超音波検査(経膈エコー)

プローブ(探触子)を膈に挿入し、子宮や卵巣の病変を、超音波を使ってモニターに映し出します。子宮体癌、子宮筋腫、卵巣の大きさ、卵巣癌などの陰影が映しだされます。

●細胞診

子宮の出口付近、または子宮体部の粘膜から細胞をとって顕微鏡で検査するものです。

●コルポスコプ診

子宮の出口の癌の出来やすい部分をレンズのついた虫メガネのような検査機器で検査するものです。肉眼では見られない病変を発見できます。



●組織診

コルポスコプ診で異常があると思われる部分を切り取って検査します。

※検査結果によって検査内容が異なります。

～子宮がん2次検診を筑後市立病院で受診される場合～

STEP 1

事前にお電話いただき、診察日程をご確認ください。

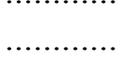
2次検診は保険診療となります。保険証、医療証、紹介状、健診結果票等を持ってご受診ください。

(受付時間) 8:30～11:30

混み合う可能性がありますので、早めの時間にお越しください。



結果票



STEP 2

医師の指示にしたがって精密検査を受けてください。



※画像はイメージです。

(お問い合わせ) 筑後市立病院 TEL 0942-53-7511 (内線560)

不明な点があれば婦人科外来にご相談ください。